災害時に備えて避難情報の確認を!

地球温暖化により「スーパー台風」などの大雨がいつ降るかわかりません。

『自分の命は自分で守る!』を合言葉にいつでも避難ができる準備をしておきましょう!

特に風水害の場合は、早めに準備しておく事で安全が確保されることから、

早くから、気象情報を確認し、早めに安全な場所に避難をしましょう!

警戒 >00 ## #= +0		
レベル	避難情報	状況
5	緊急安全確保	既に安全な避難ができず 災害発生!!又は切迫!! 命が危険な状況 レベル5では消防団も現場から撤収します!
~≪警戒レベル4までに必ず避難!≫~		
4	避難指示	災害の恐れが高い 危険な場所から 全員避難!!
3	高齢者等避難	 災害の恐れあり 危険な場所から 高齢者・障害のある方は 避難!(その支援をされる方)
		高齢者 (障害のある方) 以外の人も必要に応じ、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難しましょう!
2	大雨・洪水・ 高潮注意報	気象状況悪化
1	早期注意情報	今後気象状況悪化の恐れに情報収集



「避難」って 何すれば いいの?

小中学校や公民館に行くことだけ が避難ではありません。 「避難」とは「難」を「避」けること。 下の4つの行動があります。



行政が指定した避難場所 への立退き避難

自ら携行するもの ・マスク 小・中学校 ·消毒液 ·体温計 なスリッパ 等 000 000 公民館

安全な親戚・知人宅 への立退き避難

普段から災害時に避難 することを相談して おきましょう。

※ハザードマップで安全か どうかを確認しましょう。



どう行動するか 決めておき 安全なホテル・旅館 ましょう への立退き避難

屋内安全確保

ハザードマップで以下の 通常の宿泊料が必要 「3つの条件」を確認し です。事前に予約・ 自宅にいても大丈夫かを 確認しましょう。 確認することが必要です。 ※ハザードマップで安全か どうかを確認しましょう。

普段から



※土砂災害の危険がある 原則です。



区域では立退き避難が

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

● 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない

ホテル

(入っていると…)

流速が速いため、 木造家屋は倒壊する おそれがあります

也面が削られ家屋は 建物ごと崩落する おそれがあります

5m~10m未満 3階床上浸水~4階軒下浸水 3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水) 0.5m≈3m衰満 0.5m未満 (1階床下浸水)

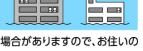
2 浸水深より居室は高い

❸ 水がひくまで我慢でき、 水・食糧などの備えが十分

(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の 使用ができなくなるおそれがあります





※●家屋倒壊等氾濫想定区域や❸水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの 市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。

資料:内閣府(防災担当)・消防庁より引用